

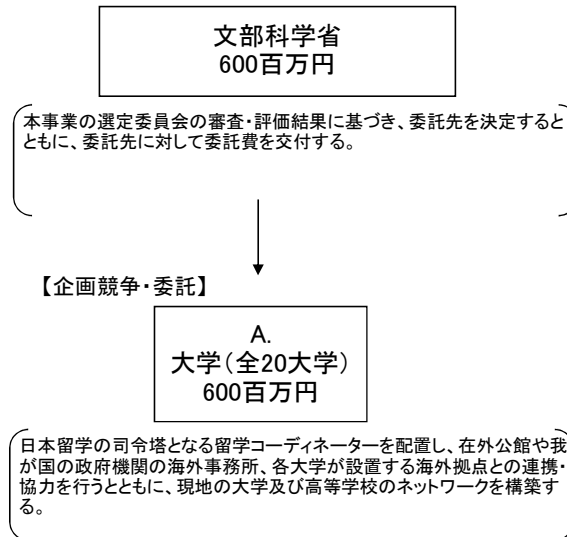
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	留学コーディネーター配置事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・未定		担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 13-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	優秀な外国人留学生を数多く受け入れるため、海外の重点地域において、コーディネーターを配置し、現地でのネットワーク構築、留学の収集・提供等を実施する体制を整備							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○重点地域ごとに日本留学の司令塔となる留学コーディネーターを配置する。 ○在外公館や我が国の政府機関の海外事務所、各大学が設置する海外拠点との連携・協力を行う。 ○現地の大学及び高等学校等とのネットワークを構築する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					600	
		繰越し等						
		計					600	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (42年度)
	我が国が受け入れる外国人留学生数		成果実績	人	-	-	-	300,000
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域の核となる国際交流拠点数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	※26年度の活動見込みである (20)
単位当たりコスト	30(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト＝ 26年度概算要求額(600百万円)/地域の核となる国際交流拠点数(20件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	外国人留学生受入推進事業委託費	-	600百万円					
	計	-	600百万円					

事業所管部局による点検											
	項目	評価	評価に関する説明								
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は世界に勝てる真のグローバル人材育成のため実施する事業であり、国が主体となり、国費を投じて実施する必要があると認められる。 ・本事業は「日本再興戦略」及び「教育振興基本計画」等を踏まえて実施する必要があり、優先度の高い事業である。 								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○									
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○									
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等においても使途の詳細等を定めることとしているため、真に必要なものに限定されていると認められる。 								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—									
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—									
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○									
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を民間企業等に委託した場合と比較し、留学に関する知識及び実績を有する大学等へ委託したほうが、コスト面でも有利であると考えられる。 								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—									
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を民間企業等に委託した場合と比較し、留学に関する知識及び実績を有する大学等へ委託したほうが、コスト面でも有利であると考えられる。 								
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業番号			類似事業名	所管府省・部局名					
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名									
点検結果	<p>本事業は、「日本再興戦略」及び「教育振興基本計画」等を踏まえて実施されるものであり、優先度の高い事業であると認められる。成果目標として2020年までに外国人留学生の受入れ30万人を目指すこととしており、そのための活動指標として海外の国際交流拠点を整備することは、事業効果及び費用対効果の面からも妥当であると判断できる。</p>										
外部有識者の所見											
外部有識者による点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見											
<p>本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
備考											
関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—						

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大学(全20大学)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	留学コーディネーター配置事業の実施	600			
計		600	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0